

【会議名】 隠岐地域保健医療対策会議 在宅医療部会

【日 時】 令和2年2月20日（木） 15：15～17：00

【場 所】 隠岐合庁6階大会議室

【出席者】 島後医師会、島前医師会、隠岐病院、隠岐島前病院、

島根県老人施設協議会、隠岐管内各町村、隠岐広域連合等（*別紙のとおり）

【議事内容】

1. 情報提供

（1）新型コロナウイルス感染症について

2. 議題

（1）医師確保計画・外来医療計画について【資料1】【資料2】【資料3】

（2）隠岐病院と隠岐の島町診療所の医療連携の取り組みについて【資料4】

（3）隠岐圏域福祉人材確保等対策事業の取り組みについて【資料5】

【議題に対する主な意見】

（1）医師確保計画・外来医療計画について → 策定方針について了承。

[議題（1）（2）に関する意見]

- ・人口が減少する限り患者も減り、民間診療所は、開院しても収支が成り立たないのではという考えがある。
- ・医師の高齢化について、海士町と西ノ島町でも状況が違う。現在、海士町には、島に常駐する医師がいるが、高齢に伴い辞めざるを得ない状況になった際、医師の確保をどうするか課題である。
- ・隠岐病院は、外科医師が1名しかいない体制で対応していくことは困難なため、外科医師の確保も今後の課題である。
- ・島後では総合診療科を立ち上げ、総合診療に興味を持っている若い医師を確保していきたい考えがある。
- ・病院と診療所の役割分担の話し合いの場を設けるべきでは。公立診療所は患者がいなくてもやっていけるが、民間診療所は厳しい。
- ・島前病院では一定のペースで後期研修医を迎えることができしており、夜間・休日に関しても対応できている。医師だけでなく看護師や社会福祉士の確保が課題。

[議題（3）に関する意見]

- ・介護職以外にも介護施設で働く人材（栄養士や調理師など）の確保も厳しい状況であるため、広域連合のバックアップは非常に心強い。
- ・訪問介護のニーズとして、近年は30分ほどの短時間利用のケースが増えており難病や医療依存度の高い方が医療保険を使って利用するケースが多い。
- ・人材不足の中、初任者研修や実務者研修で施設を長期間離れられるのは厳しいため、広域連合で準備中の隠岐圏域内で研修可能な仕組み作りに期待している。